

「地震は防げない。被害は防げる。」

1.授業の趣旨

中学校の防災訓練(各教室から校庭へ避難)の後、すまいの耐震と地震への備えなどを一級建築士のゲストティーチャーから学ぶプログラム。建物に見立てた木枠の模型教材で「地震に強い建物の構造」の体感、クイズ形式で学ぶ「建物の安全性や安全で安心な暮らしのために日ごろからできること」、震災時の被害の様子などの映像資料等を活用し、生徒参加型で実施。

2.概要

- 実施校 平野中学校(西区)
- 講師 (社)兵庫県建築士会 山際洋子
- 実施日 平成18年11月30日
- 対象 全校生(約750名)
- 所要時間 50分

3.流れ

内 容	写 真
<p>地震は来るけど、被害を防ぐためにどうするか。地震がきたら避難をするが、地震が来る前に私たちができることは?</p> <p>【クイズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震のとき、出入口は開ける?閉める? ・逃げるときはどんなことに気をつける?それはなぜ? 	
<p>避難場所プレート</p> <p>【クイズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このプレートはどこにある? ・(写真を隠して)一体何ヶ国語で書いているか?それはなぜ? 	
<p>備蓄倉庫</p> <p>【クイズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難したら緊急に必要なものが蓄えてあります。学校のどこにあるでしょうか? ・避難してきた人用の毛布、何人分? ・どんなものが入っているか? 	

住まい

防災

建築

U
D

皆さんは地震の時のことをあまり知らないと思うので、ここでビデオ
を見てみます。
(映像「しあわせはこぼろ」DVD「こんなことがあった」→「地震の
威力と被害」)



これからつくる家は地震で倒れないようにするにはどうしたらいい
だろうか、ということこれからみんなで考えよう。
写真の模型で①柱とはり②そこに斜めの筋交いを入れたもの、どっ
ちが力に対して強いかな？
実際に一人出てきて試してもらおう。
…「筋交いが入っている方が強い」
筋交いを入れると強いことがあなたたちにも体験してもらいます。
もう一つ用意しました。



筋交いの入ったものと、筋交いのないものに「キッチンペーパー」
を張ってみたものの強さを、みんなに試して実感してもらいます。

紙を貼っただけでも強くなるのがわかりますね。本当の建築でも、
筋交い、それから面補強が使われています。紙は使わないけど、面
全体に貼ると相当強くなる。

神戸市の古い中学校は耐震改修で筋交いを入れていったりしてい
ます。みんなの家も大丈夫だと思いますが、昭和56年以前に建っ
た建物は、すまいるネットで調べる方法を教えてください。



さて、建物の次、家の中はどうなるのか？次のビデオで（DVD「しあわせはこぼろ」→「命をまもる」→「家の中の危険と対策」）

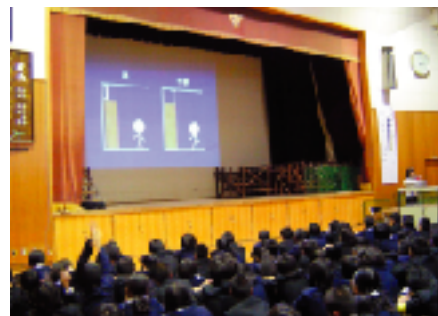
私は地震の時マンションの7階に住んでいたが、飛び起きたあと、寝ていた枕のところに整理ダンスが落ちてきていた。家具で被害が出ることもあるので、お家でも考えてほしい。



では、家具が倒れないようにするための「つかえ棒」、どうつけばいいんでしょうか。

- ・つけた方が安全？
- ・奥につける？手前につける？

手軽にできることから取り組めばいいんですが、正しい使い方をしないと役に立たないことがあります。



最後に、この30年間の間に大地震が起こるとされている確率は？

- ・南海地震は？
- ・東海地震は？

日本に住んでいる限り、地震は防げない。だけど、怪我をせずすむためには、あなたたちが考えていくことが必要。見る力、考える力、行動する力を育ててほしい。

